

# サステナブルファッション習慣 進行役・教師用解説書

Sustainable fashion

Reuse

Fairtrade

Supply chain

Zero emissions

Reduce

## もくじ

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| 1. はじめに一参加者と共に学び踏み出そう           | …1  |
| 2. ねらいとつかい方                     | …2  |
| 3. 学習環境づくりのヒント                  | …4  |
| 4. ふりかえりーサステナブルファッション習慣の促進をめざして | …5  |
| 5. キーワード（用語解説）                  | …6  |
| 6. 4つのアクティビティ（授業案）実施の手引き        | …8  |
| （1）タグをチェック！服のことを調べてみよう          | …10 |
| （2）クイズ                          | …13 |
| （3）サプライチェーンから考えるサステナビリティ        | …18 |
| （4）未来のサステナブルファッション              | …24 |
| 7. 発展的な学習の展開例                   | …28 |
| 8. 授業等での活用例                     | …29 |
| 9. 関係省庁の取り組み事例                  | …33 |

SDGs

アパレルファッション産業は、大量生産・大量消費・大量廃棄のビジネスモデルが広がったこともあり、環境負荷が極めて大きい産業と言われています。

例えば、世界全体で、毎秒トラック1台分の衣服が埋め立て又は焼却処分されています。アパレルファッション産業は2018年に約21億トンのCO<sub>2</sub>を排出し、これは世界全体の排出量の約4%に相当します。

また、毎年、930億m<sup>3</sup>の水(500万人分の生活に必要な水の量に相当)が使用され、衣服から出る50万トンのマイクロプラスチックが海洋に放出されていると言われています。

2013年にはバングラデシュで複数の縫製工場が入ったビル(ラナ・プラザ)が違法労働の常態化により崩落し、1,100人以上の労働者が死亡。縫製工場の安全管理が問題となりました。また、アパレルメーカーの委託生産先である途上国の工場での低賃金・長時間労働や児童労働の問題なども発覚し、問題提起されています。これらの問題を契機にして、アパレルファッション産業のサプライチェーン管理の重要性も広く認識されるようになりました。

原材料調達から生産・流通、使用、廃棄に至る各段階での環境負荷やサプライチェーンの問題が指摘されるだけでなく、動物福祉への配慮なども求められるようになってきています。

アパレルファッション産業の事業者においても、衣服を取り巻くこうした様々な課題が急速に意識され、SDGsの取組の加速と相まって、様々な取組が始められています。例えば、再生ポリエステルの利用、マイクロプラスチックが出にくい生地の開発、リペアサービスの提供、衣服のシェアリングサービスの展開、不用な衣服のリサイクル、売れ残りを最小化するための在庫管理による生産の適正化などです。

また、日本には、製糸・紡績、生地生産、染色、縫製の各段階で優れた伝統技術や先進技術が各地に存在します。こうした国内の技術を活用した製品の購入が増えれば地域活性化や国内産業振興にも寄与する側面もあります。

課題解決に向けては、事業者や事業者団体の活動・取組に加え、消費者一人ひとりの主体的な行動も鍵となります。消費は事業者や社会に対する投票行動ともいえます。環境負荷の高い製品よりも低い製品を購入する、生産に携わる人々の生活への配慮がなされている製品を購入するなどの消費行動が広まれば、事業者の意識や行動も変わり、社会を変えることにつながります。

サステナブルファッションに向けた消費者の取組の第一歩は、ごくごく簡単で身近な行動からすぐに踏み出せるものです。例えば、衣服を購入する前に、3年後に自分がその服を着ている姿をイメージできるか、長く着るつもりで購入するものなのか、もう一度よく考えてみる、そんなことから始めることができます。新しい服を買うのをやめてボタンを付け替えて服の印象を変えてみる、なんてこともできます。

そんなふうに「これまで通り」ではない方法を探り、考え続けることがサステナビリティにつながります。本書をご利用になる皆様も、参加者と共に学び、サステナブルファッションに向けた取組に一步踏み出してくださることを願っています。

参考：消費者庁  
サステナブルファッション習慣のすすめ





## 2 ねらいとつかい方

### ねらい

- (1) 生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みである「サステナブルファッション」について理解すること。
- (2) 服の原料や生産から消費、廃棄に至るサプライチェーンの各段階における様々な背景や問題、その構造を理解し、自分たちの生活がその中に組み込まれていること、自分たちの生活とのつながりを考えること。
- (3) 衣服の購入、手入れ、手放す際のサステナブルな消費行動の影響を知り、持続可能な未来をつくるための行動としてとらえるようになること。
- (4) ファッションをめぐる問題により影響を受けている環境や人々の現状を具体的に理解し、自分事としてとらえるようになること。
- (5) 様々な事例を通じ、ファッションを取り巻く現状や問題について理解し、サステナブルファッションの必要性を感じ、自分の意識や行動を見直し、自分事としてとらえ、日常の習慣として行動に移そうと思えるようになること。
- (6) 上記の内容について、グループや仲間とともに考え、共有すること。

### 対象

中学生、高校生を主な対象としています。

### つかい方

- ・本書には4つのアクティビティ（授業案）が収められています。
- ・冊子（ハンドブック）、動画、スライド資料、ワークシートの関連資料をご用意しています。本書に収録のアクティビティと組み合わせてご利用ください（詳細は次頁参照）。
- ・それぞれ単体でご利用いただけます。1から順に実施しなくても、また、すべて実施しなくてもかまいません。対象者や学習のねらい、所要時間に沿って自由に組み合わせてご利用ください。

## 関連資料



### 冊子『サステナブルファッション習慣ハンドブック』

アクティビティや動画と連携した内容を収録しています。プログラム実施前の予習や事後の補足資料としてご利用ください。

- ・ 1 頁：表紙
- ・ 2 頁：サステナブルじゃないファッション習慣（動画と連携）
- ・ 3-4 頁：タグをチェック！服のことを調べてみよう（アクティビティ1 と連携）
- ・ 5-6 頁：クイズ（アクティビティ2と連携）
- ・ 7 頁：キーワード（本書6・7頁と連携）
- ・ 8-9 頁：サプライチェーン（アクティビティ3と連携）
- ・ 10-11 頁：サステナブルファッション習慣の事例エッセイ（アクティビティ4 と連携）
- ・ 12 頁：つくり手に提案するなら…？ 服を着る人ができることは…？（アクティビティ4と連携）



### 動画「サステナブルじゃないファッション習慣」(3分48秒)

アクティビティ4と連携した内容を収録したアニメーション動画です。プログラム実施前の予習や事後の補足資料としてご利用ください。



### スライド資料

本書に収録のアクティビティと連携したスライド資料です。実施内容や対象者に合わせて自由に編集してご利用ください。



### ワークシート／カード

各アクティビティに対応したワークシート（4 種類）およびカードセット（3 種類）です。ワークシートは A4 縦と横の2サイズご用意しています。

## 3 学習環境づくりのヒント

### 学習環境づくり

- ・この教材は、グループワークを中心とした参加型学習（アクティブ・ラーニング）形式です。おすすめのもので、参加者同士が対話しながら、学習の過程（プロセス）で気づきや学びが生まれるように作成しています。「正しいひとつの答え」があるわけではないので、「答えに速く導く」ことよりも、学習の過程（プロセス）を重視してください。
- ・進行役は、参加者が意見を出しやすい雰囲気をつくるよう、心がけましょう。参加者同士が上下関係をつくることなく、他者の意見に耳を傾け、自分の意見を表明できるよう、まずは進行役自身がそのような態度を示してください。

### 正解のない問題・賛否が分かれる問題を扱います

この教材では、「正しいひとつの答え」があるわけでもない問題や、賛否が分かれる問題を扱います。

わたしたちの生きる世界は持続不可能（アン・サステナブル）な状況に陥っており、だからこそ、持続可能（サステナブル）な社会に向けた議論や実践、試行錯誤が行われています。現実社会においても「正しいひとつの答え」はありません。

#### （1）意見の多様性を尊重する

学習のプロセスでは、一人ひとりの意見が違うことを前提として、賛否に関する意見そのものより、意見の背景や理由を深く掘り下げるように心がけてください。また、「答え」を出すことよりも、話し合いや学び合いの中で生まれた声や変化を活かしながら進めてください。

#### （2）公平性と客観性をもつ

議論が偏ったものにならないよう、公平性と客観性をもって学習者をサポートするよう心がけましょう。議論が偏ったり滞ったりする場合は、全く別の視点を出したり、さまざまな立場の意見や考えを参加者に提供すると、より多くの気づきにつながります。進行役自身の意見や考えを学習者に伝えることは自由ですが、それにより議論を方向づけたり、偏りを生んだりする可能性があることを認識しましょう。

#### （3）答えは参加者がもっている

答えがない問題や賛否が分かれる問題を扱うときは、その時その場の参加者の状況や議論の流れで学びのプロセスは変化していきます。進行役は、扱うテーマに関する知識や明確な意見を持つことよりも、参加者の参加かつ主体的な学びをサポートすることを心がけましょう。進行役自身も変化や成長するチャンスと捉え、実践をふりかえることも大切です。

## ふりかえりとは

実施後に、学習者一人ひとりが何を感じたか、考えたか、学んだかを確認する作業が「ふりかえり」です。その時の気持ちや考えを言葉にすることで、「気づき」や「学び」が学習者の中に定着することを助けます。また、学習を通して「もっと知りたかったこと」や「疑問」が出てくる場合もあるでしょう。「今までなぜ、そのことに気づいていなかったのか」を掘り下げることで、次の学びにつなげることができます。

「ふりかえり」は一人で行うこともできますし、少人数やグループで行うこともできます。また、話すだけでなく、書く、書いて話す、という作業もできます。他者の感想を聞いて、新たに気づくこともあるでしょう。短い時間でも、必ず「ふりかえり」の時間を設定することが大切です。

## 日常の習慣を見直すためのふりかえり

この教材のねらいは、ファッションを取り巻く現状や問題について理解し、サステナブルファッションの必要性を感じ、自分の意識や行動を見直し、自分事としてとらえ、日常の習慣として行動に移そうと思えるようになることです。

しかし、普段の意識や行動を見直し、習慣を変えていくのはそう簡単ではありません。一度の授業では難しくても、何度も学びを繰り返しながら、その都度、自分自身の衣服の消費や手入れ、廃棄のプロセスを定期的にふりかえり、見直していくことが大切です。

学習の「ふりかえり」の中に、自分の習慣をふりかえる質問を入れることもできます。自身の習慣で見直したいことがあるか、実際に行動したこと、新しくやってみたことなどを定期的にふりかえり、グループで共有することもできるでしょう。

## 進行役自身のふりかえり

実施後は、進行役自身も自分の学びや気づきをふりかえりましょう。学習者に「ふりかえりシート」を書いてもらった場合は、それを読んで、学習者にどんな学びがあったのか、それはなぜなのかをふりかえります。また、授業中での学習者の発言や表情などから、進め方や内容が適切であったか、学びやすい環境づくりなどの配慮できていたかをふりかえることができます。

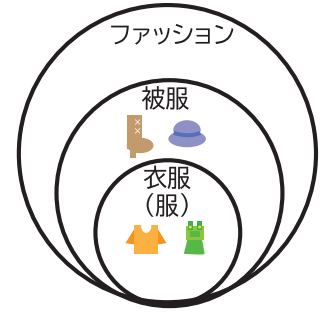
サステナブルファッション習慣を促進することは、学習者だけでなく、進行役も含めたすべての人に必要なことです。進行役自身も普段の生活における衣服の消費、手入れ、廃棄のプロセスを見直し、改善できる部分については意識や行動を変えることができます。

一人では難しいことも、仲間とともに、学び、変化していくのはとても楽しいものです。学級であれば、1年を通して定期的に意識や行動を見直すことで、サステナブルファッション習慣を身につけていくことができるのではないのでしょうか。

## 5 キーワード（用語解説）

### 衣服・被服

「衣服」は、体幹部、腕、脚など、身体の主な部分をおおい包む服のことで、一般的に帽子や靴などは含みません。一方、「被服」は、身体すべての部分をおおうものであり、帽子や靴などの付属品など身体につけるものも含んでおり、「衣服」より広い意味を持ちます。なお、「被服」は、狭義には、「衣服」「着るもの」としてとらえられ、これらの用語と区別なく使われることもあります。（参考：『新・田中千代服飾事典』同文書院、2004）



### 服

この教材では、生活の中で広く一般的に使われている「服」という言葉を「衣服」の意味で使います。

### ファッション(fashion)

「ファッション」は、「流行」や「はやり」という意味の英語です。服だけでなく、バッグやアクセサリ、メイクや髪型を含むコーディネートや着こなし、広くは文化や習慣なども含む言葉です。この教材では、「ファッション」という言葉を「服で装うことを自分らしく楽しむこと」の意味で使います。この教材では、生活の中で広く一般的に使われている「服」という言葉を「衣服」の意味で使います。

### サプライチェーン(supply chain)

ある製品の原料調達から消費者の手元に至るまでの全工程のつながりのこと。原材料・部品の調達から、製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのことをいいます。

### ファストファッション(fast fashion)

流行を取り入れつつ低価格に抑えた被服などを大量生産し、短いサイクルで販売するブランドやその業態のこと。安くて速い「ファストフード」になぞらえた造語です。

### サステナブルファッション(sustainable fashion)

「サステナブル」とは、英語の sustain(持続する)と able(できる)を組み合わせた言葉です。環境や人権、持続可能性(サステナビリティ)に配慮した生産・消費・着用(お手入れ)・廃棄がされるファッションのことを表します。同様の言葉に「エシカル(倫理的・道徳的)ファッション」があります。

### トレーサビリティ(traceability)

英語の trace(追跡)と ability(能力)を組み合わせた言葉で、製品の原材料を調達するところから廃棄するところまで、誰がいつ、どこで、どのように行われたかの追跡を可能にすることを意味します。服は、生地、裏地、中綿、ボタン、ファスナーなどからできていて、多種多様な素材が混合されています。また、海外における生産段階は、数多くの工場や企業によって分業されているため、環境負荷や人権侵害の実態や全容の把握が困難な状態となっています。



## 衣服ロス／ファッションロス

まだ着られるにもかかわらず、企業や家庭から大量の衣服が廃棄されている問題のこと。売れ残った新品の服が一度も着られることなく廃棄されることも含まれます。まだ食べられるのに廃棄される食品が「食品ロス」と呼ばれるのと同様の言葉です。

## マイクロプラスチック(micro plastic)

直径5mm以下の微細なプラスチックごみのこと。マイクロプラスチックはいろいろなプラスチック製品から発生しているといわれており、人工芝や衣料品等に使用されている合成繊維もその発生源のひとつとされています。海や川、自然環境に流出したマイクロプラスチックは基本的に自然分解されることはなく、生態系および人体への影響が懸念されています。

## グリーンウォッシュ(green wash)

環境に配慮したイメージを想起させる英語の green(グリーン)と、「ごまかし」や「上辺だけ取り繕う」という意味の whitewash(ホワイトウォッシュ)を組み合わせた造語です。環境に配慮したかのように見せかける、実態が伴わない行動や表現を指します。例えば、リサイクル素材を利用した服であることを過大にアピールしながらも、リサイクル素材の使用割合を明示せず実際はごくわずか（あるいは使われていない＝虚偽）であったり、製造工程では化学物質による汚染を引き起こしていたり、といった事例があります。

## アップサイクル(upcycle)

着なくなった服をバッグにリメイクして再販するなど、元の製品に新たな付加価値を持たせて別の製品として再生させることなどを言います。メーカーでは、服を作る時に出てしまう裁断くずを活用した製品をつくったり、回収した服を染め直して再販売したりする事例があります。リサイクルとは異なり、素材を原料へと分解し再生産するためのエネルギーが不要であるため、よりサステナブルな方法といえます。

## フェアトレード(fair trade)

直訳すると「公平・公正な貿易、取引」という意味の英語で、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い開発途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「ものづくりのしくみ」のこと。働き手だけでなくコミュニティや地球環境の健康にも配慮しています。フェアトレードのしくみで生産されたファッション製品は「サステナブルファッション」でもあります。

## カーボンニュートラル(carbon neutral)

気候変動の原因となる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収・除去量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味しています。達成のためには、温室効果ガスの排出量の削減、吸収・除去作用の保全や強化をする必要があります。

## 循環経済／サーキュラーエコノミー(circular economy)

サーキュラーエコノミーは、資源を効率的に循環させ、持続可能な社会をつくるとともに経済的な成長もめざす「経済システム」を意味します。対して、従来の大量生産・大量消費・大量廃棄という一方通行型のしくみは「リニア経済」と呼ばれます。

### (1) タグをチェック！服のことを調べてみよう

着ている服についている品質表示タグを見て、素材や原産国について知るシンプルなアクティビティです。

- ・ワークシート 1 を使います。
- ・冊子(ハンドブック)3-4頁に対応しています。

### (2) クイズ

服に関する基礎知識を学ぶことを目的としたクイズです。

- ・ワークシート2を使います。
- ・冊子(ハンドブック)5-6頁に対応しています。

### (3) サプライチェーンから考えるサステナビリティ

まず、服が製造され、消費者の手元に届くまで、そして手放したあとまでの工程(サプライチェーン)をカードを並び替えながら理解します。そして、服の「ライフサイクル」のそれぞれの工程でどのような環境・人権・社会的な問題が発生しているのかを学びます。

- ・カードセット A・B・C、ワークシート3を使います。
- ・冊子(ハンドブック)8-9頁に対応しています。

### (4) 未来のサステナブルファッション

どんな未来の社会に生きていたいと思うか、サステナブルな社会に向けて、わたしたちはどんなことができるのかを考えます。事例もご紹介しています。

- ・ワークシート4および動画を使います。
- ・冊子(ハンドブック)10-12頁に対応しています。

### 発展的な学習の展開例と授業等での活用例

対象者や学習のねらい、所要時間に沿って、自由に組み合わせたり応用したりしてご利用ください。

- ・発展的な学習の展開例については 28 頁でご紹介しています。
- ・中学校・高等学校での家庭科や総合学習、社会科・地理での授業実践を元にした授業等での活用例は、29 頁以降でご紹介しています。

## 授業に参加した生徒の声

本教材をつかって 2025 年 1 月に、5 校の中学校・高等学校で模擬授業を実施しました。  
参加した生徒たちの声の一部をご紹介します。

### 中学 1 年生(家庭分野)：アクティビティ 1 (宿題)、2、3、4を実施

アクティビティ 1：タグをチェック！服のことを調べてみよう

- ・ポリエステルって何でできているのか？石油？
- ・綿はインドで作られていることは社会科で習った。

全体のふりかえり

- ・服の生産から処分まで多くの工程で CO<sub>2</sub>が排出されていることに驚いた。
- ・服のリサイクル率を知り、もっと多くの服がリサイクルされるように、周りに声をかけてリサイクル率をあげられるようにできればよいと思った。
- ・買う時にまずこの服を自分はどのくらい着られるのかと本当に欲しいのかを考え、買うということ、着られなくなったら、リサイクルやおさがりなどでなるべく捨てない選択をしようと思った。
- ・今まで普通に服を買ってきていたので、世界にごみの埋め立てのような場所があってこうなってしまったのは自分のせいだと悲しくなりました。授業で学んだことを頭に入れて考えていきたい。
- ・自分のクローゼットをもっとよく見てみようと思った。

### 高校 1 年生(家庭基礎)：アクティビティ 1 (宿題)、3を実施

アクティビティ 3：サプライチェーンから考えるサステナビリティ

- ・輸入浸透率の高まり／焼却処分／全体的に環境負荷が大きいことが印象に残った。
- ・(途上国への古着としての寄付等が)途上国の負担になっている可能性があることに衝撃を受けた。
- ・もう、ラナプラザ(倫理の授業でもやった)のようなことは起こってはいけない。
- ・マイクロプラスチックを海に流出させない方法はあるのか？

### 高校 1 年生(総合的な探究の時間)：アクティビティ 2(宿題)、3、4を実施

アクティビティ 2：クイズ

- ・輸入の割合がこれほど高いとは思わなかった。
- ・洋服の価格が下がっていることに驚いた。
- ・CO<sub>2</sub>の排出量がこんなにあるのか。

アクティビティ 4・STEP 1：未来のサステナブルファッション

- ・消費者が本当に必要なのか、着回しなどを考えて購入する／必要でないものを買わない／リサイクルをする／着回しや服の循環を考えて購入をする／エシカルファッションを理解する。
- ・企業・メーカー・政府が CO<sub>2</sub>排出を削減する方策を考える。
- ・店やメーカーが無駄なものをつくらない／受注生産をする／メンズやレディースにこだわらないジェンダーフリーのデザインをする／素材などに関してサステナブルかどうかタグに書くようにする。
- ・政府がファッションに関する法律を出す。
- ・メディアが、エシカルファッションについて SNS で発信する。

# 1 タグをチェック！服のことを調べてみよう

## どんなアクティビティ？

着ている服についている品質表示タグを見て、素材や原産国について知るシンプルなアクティビティです。発展のワークに取り組むことで、さらに学習を深めることができます。

## ねらい

- ・日本で流通している服のほとんどが、外国でつくられ、輸入されていることを知ること。
- ・服にはさまざまな素材が使われていることや、素材の原料について知ること。
- ・原産国(made in ～)に記載されているのは最終的な縫製が行われた国であり、販売国と原産国、素材の生産国が異なる場合があることを知ること。
- ・その後に続くテーマや議論への導入とし、学習への動機づけをすること。

## 用意するもの

- ・ワークシート1（人数分用意する）
- ・投影機材（スライド資料を使用する場合／3頁参照）
- ・世界地図（必要に応じてご用意ください）
- ・筆記用具（各自）

## 所要時間

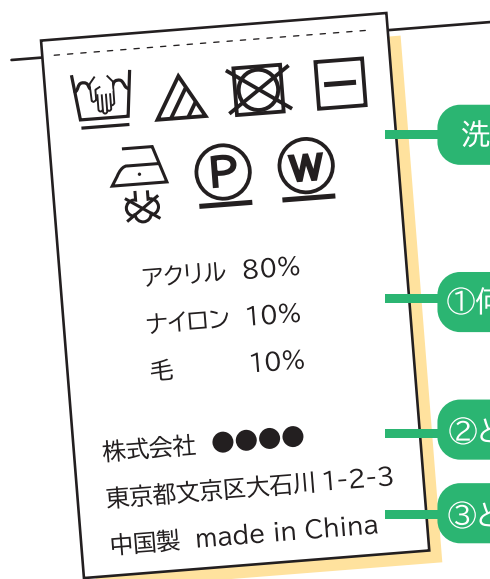
45 分～（事前調査を宿題にする場合の時間は含まない）

## すすめ方

| 発問・学習内容                                                                                                                                                                                                                                | ポイント                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. すすめ方の説明(2分)</b><br>参加者に1人一枚ワークシート1を配布します。<br>例「これから、みなさんが身に着けている服のことを調べてみましょう。<br>服についているタグを見てワークシートに記入してください」                                                                                                                   | 参加者全員が制服など同様の服を着ている場合や実施時間を短縮したい場合は、宿題にして事前に記入してきてもらいます。また、学生服は日本製であることが多いため、それ以外の服も含めて調べるとよいでしょう。参加者が多様な素材や原産国を知ることができるよう、異なる種類の服を調べることを勧めてください。 |
| <b>2. 手本を見せる(3分)</b><br>進行役は手本を見せます。例えば、「このシャツのタグを見ると…、メイド・イン・バングラデシュと書いてあるのでバングラデシュ製ですね。素材は、ポリエステル 80%、綿 20%と書いてあります。綿の産地は、アメリカか中国かな？でも、ポリエステルの産地はどこか分かりません。このメーカー（ブランド）は、アメリカの会社です」と言い、ワークシートに記入します。やり方で分からないことがあるか全体に尋ね、質問があれば答えます。 | 進行役は授業の際には以下の条件を満たした服を着ていると手本を見せやすくなります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・見せやすい場所に品質表示タグがついている</li><li>・外国製</li><li>・複数の素材が使われている</li></ul> |
| <b>3. ワークシートに記入する(10 分)</b><br>全員がやり方を理解したところでワークシートに記入してもらいます。また、メーカー（ブランド）の国が分からなければ、インターネット等で調べてみましょう。                                                                                                                              | もしも、1人で3点埋めるのが難しければ、1人1点調べるなどして、グループで取り組んでもかまいません。                                                                                                |

| 発問・学習内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | ポイント                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>4. グループで共有する（10分）</b><br/> 3～5人の小グループになり、互いのワークシートを見せ合いながら共有します。どんな傾向があったのか、気づいたこと、分からなかったこと、疑問点などをグループでまとめます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p><b>5. 全体発表（10分）</b><br/> 数グループに全体発表してもらいます。ポイントになる事柄が出たら、進行役は全体に復唱したり、板書したりして、参加者の気づきを促します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服のメーカー（ブランド）の企業の所在地（販売者の国）と縫製している国（原産国）、販売されている国が異なること。<br/> <b>例</b>「その服のメーカーはアメリカの会社だけど、バングラデシュでつくって、日本で売っているのですね」</li> <li>・服はさまざまな素材からつくられていること。また、素材の産地は記載されていないが、様々な国から原材料調達がされているということ。<br/> <b>例</b>「綿や麻、ポリエステルやアクリルなど、さまざまな素材が使われているのですね。複数の素材が混ざって1枚の服になっている場合もありますね。ところで、綿はどこで生産されているでしょう？ポリエステルのほとんどは石油からつくられています。どこで生産されたのでしょうか？1枚の服も、世界中を旅して今ここにいるのかもしれませんが」</li> <li>・素材から縫製まで日本製の服はほとんどないこと。<br/> <b>例</b>「素材から縫製まで100%日本産・日本製という服はありますか？ありそうですか？」</li> </ul> | <p>日本の市場で販売されている服の約98.5%（2022年）は海外で製造されています。詳細はアクティビティ2（クイズ）で紹介しています。</p> <p>素材には大きく分けて天然繊維・化学繊維の2種類があります。詳細はアクティビティ2（クイズ）で紹介しています。</p> <p>かつて、着物(和服)は素材から縫製まで、ほぼ国産でした。日本に限らず、世界各地の伝統衣服も同様でした。伝統産業や繊維産業への影響は、アクティビティ3（サプライチェーン）で紹介しています。</p> |
| <p><b>6. ふりかえり・まとめ(10分)</b><br/> 気づいたことや印象に残ったこと、もっと知りたいことなどを共有してふりかえります。また、服以外のモノにも視点を広げる言葉でまとめ、普遍化します。<br/> <b>例</b>「みなさんが毎日着ている服も外国といろいろつながっていることが分かりましたね。服だけでなく、文房具や日用品、食べ物はどうでしょうか？」</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>発展的な学習の展開例は28頁で、授業等での活用例は、29頁以降で紹介しています。</p>                                                                                                                                                                                              |

# タグをチェック！服のことを調べてみよう

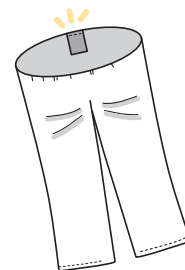


洗濯・お手入れの方法

①何からつくられている？（素材）

②どここの国のメーカー？（販売者の国）

③どこで縫製された？つくられた？（原産国）



|   | 服の種類 | ①素材<br>(産地の予想)                            | ②メーカー・<br>販売者の国 | ③原産国 | 気づいたこと<br>知りたいこと               |
|---|------|-------------------------------------------|-----------------|------|--------------------------------|
| 例 | セーター | アクリル(わからない)<br>ナイロン(わからない)<br>毛(オーストラリア?) | 日本              | 中国   | アクリルやナイロンは<br>何からできているの<br>かな？ |
| 1 |      |                                           |                 |      |                                |
| 2 |      |                                           |                 |      |                                |
| 3 |      |                                           |                 |      |                                |
|   |      |                                           |                 |      |                                |



## どんなアクティビティ？

データを読み解きながら服に関する基礎知識を学ぶことを目的としたクイズです。

## ねらい

- ・ 基本的な情報を通して、服に関心を持つこと。
- ・ 自分の意見を考えて表明すること。
- ・ 参加者の知識を共通のものとする事で、その後続くテーマや議論への導入とすること。

## 用意するもの

- ・ ワークシート2(グループ数分用意する)
- ・ 投影機材(スライド資料を使用する場合／3頁参照)
- ・ 筆記用具(各自)

## 所要時間

45 分～(クイズの予想を宿題にする場合の時間は含まない)

## すすめ方

| 発問・学習内容                                                                                                                                                                                      | ポイント                                                                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. すすめ方の説明 (5分)</b><br>参加者にすすめ方を説明します。<br><b>例</b> 「これから服に関するクイズをやります。各グループにクイズを配るので、グループの全員で話し合いながら答えを予想しましょう」                                                                           | 実施時間を短縮したい場合は、宿題にして事前に記入してきてもらいます。                                                                 |
| <b>2. グループワーク (10 分程度)</b><br>クイズシートを配布し、3～5人の小グループで話し合いながら回答します。                                                                                                                            | 参加者が自由に発言できる雰囲気づくりを心がけましょう。なぜそう思ったのか理由も考えてもらいます。                                                   |
| <b>3. 答え合わせ・解説(20分程度)</b><br>「クイズの答えと解説」(15頁～)を使いながら、答え合わせを行います。答えを確認するときは、選択肢だけではなく、なぜそれを選んだのか、理由も確認するようにしましょう。<br><b>問いかけ例：</b><br>「〇〇さんが〇〇を選んだのはなぜですか？」<br>「他の選択肢を選んだ人は、今の意見を聞いてどう思いますか？」 | 参加者の意見をなるべく多く引き出すことが大切です。出た意見を否定したり、判断を下したりしないようにしましょう。<br>クイズ3の最後の「気になった統計とその理由」は全体発表してもらい、共有します。 |
| <b>4. ふりかえり(10 分)</b><br>グループごとに、クイズを通して初めて知ったことや気づいたこと、他の参加者の傾向や意見を聞いて印象に残ったことや興味を持ったことなどを共有します。時間があれば全体でも共有します。                                                                            | 発展的な学習の展開例は28頁で、授業等での活用例は、29頁以降で紹介しています。                                                           |

# クイズ

**クイズ1** 日本に暮らす人たちが服を購入する時に重視していることはなんだと思いますか？回答の多かったものを3つ予想してみましょう。

あなたはなにを重視してる？

- ①価格 ②流行・トレンド ③デザイン ④ブランド・メーカー名 ⑤着回しのしやすさ  
⑥耐久性 ⑦環境や人・社会に配慮した製法や素材を使っているかどうか  
⑧リサイクルやリメイクがしやすいかどうか ⑨SNS 映えがよいかどうか ⑩その他

**クイズ2** 服は主にさまざまな繊維からできた素材でつくられています。そのうち、石油を原料につくられる繊維はどれでしょう？（複数回答）

- ①綿（コットン） ②アクリル ③ポリエステル ④麻（リネン）  
⑤ナイロン ⑥毛（ウール）⑦絹（シルク） ⑧レーヨン

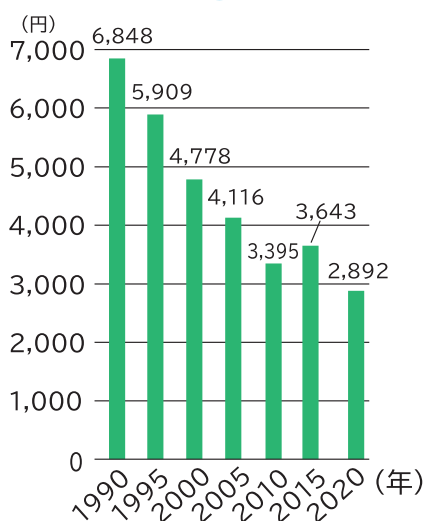


**クイズ3** それぞれの数字は、服にまつわる日本と世界の統計です。

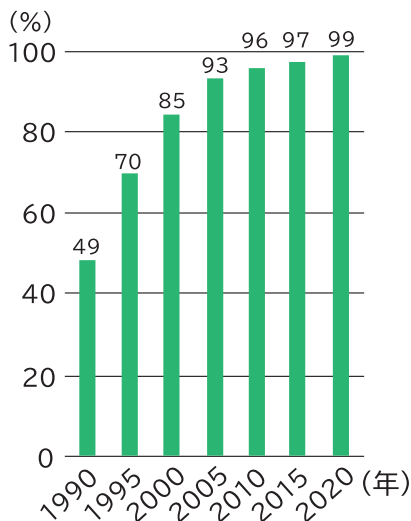
A～Cの表は何の数値を表しているか、下記の1～3の中から予想して [ ] に記入しましょう。

1. 服1枚あたりの価格の推移（日本） [ ]  
2. 二酸化炭素の排出量（世界） [ ]  
3. 服の輸入の割合\*（日本） [ ] \*服の輸入の割合は正確には「輸入浸透率」といいます

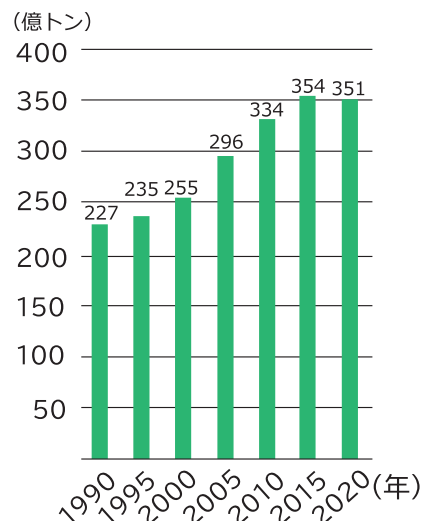
**A**



**B**



**C**



あなたが気になった統計はどれですか？その理由は？

## クイズの答えと解説

**クイズ1**：日本に暮らす人たちが服を購入する時に重視していることはなんだと思いますか？

回答の多かったものを3つ予想してみましょう。

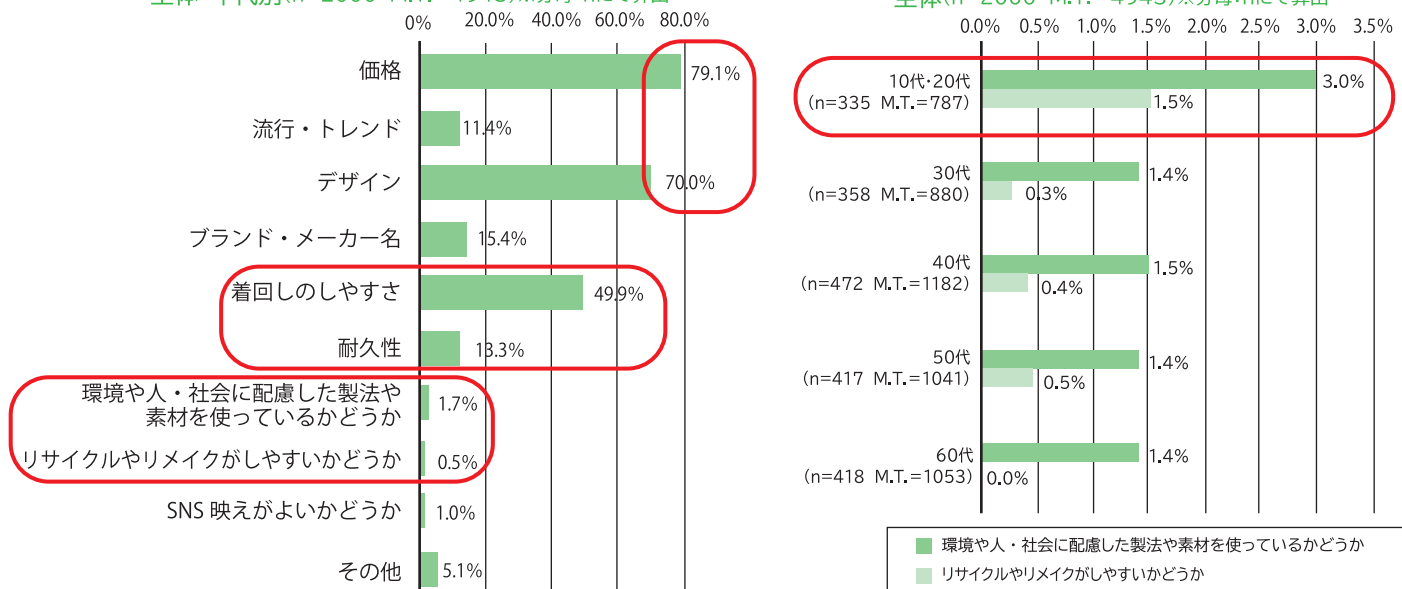
**答え**：①価格 ③デザイン ⑤着回しのしやすさ

消費者庁の調査<sup>1</sup>によると、服の購入時に「価格」と「デザイン」を重視する傾向があります。サステナブルファッションに関連する回答では、「着回しのしやすさ」「耐久性」を考慮する消費者は比較的多い一方、「環境や人・社会に配慮した製法や素材を使っているかどうか」「リサイクルやリメイクがしやすいかどうか」を考慮する割合は、それぞれ1.7%、0.5%と低くなっています。しかし年齢別に見れば、10代・20代では30代以上よりもそれらの項目を選ぶ割合が多くなっています。

衣服を購入するときに重視することは何ですか。3つまでお答えください。※該当の選択肢がない場合でも、強いて言えばお答えください。

全体・年代別(n=2000 M.T.=4943)※分母:nにて算出

全体(n=2000 M.T.=4943)※分母:nにて算出



**クイズ2**：服は主にさまざまな原料からできた繊維でつくられています。

そのうち、石油を原料につくられる繊維はどれでしょう？(複数回答)

**答え**：②アクリル ③ポリエステル ⑤ナイロン

服の素材になる繊維は大きく分けると天然繊維と化学繊維の2種類があります。繊維以外にも、皮革や羽毛、動物の骨・貝、プラスチックや金属なども服の素材として利用されています。近年では、動物由来の素材を使わない「ヴィーガン・ファッション」も注目を集めています。

世界の繊維生産量は、人口増加を上回るペースで、2000年以降2倍以上に増加し、2023年に過去最高の1億2,400万トンに達しました。現在の傾向が続くと2030年には1億6,000万トンに増加すると予想されています<sup>2</sup>。

<sup>1</sup>消費者庁「サステナブルファッション」に関する消費者意識調査(令和3年7月)

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_education/public\\_awareness/ethical/investigation/assets/consumer\\_education.cms202.211013.01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/investigation/assets/consumer_education.cms202.211013.01.pdf)

<sup>2</sup>Textile Exchange Materials Market Report 2023

<https://textileexchange.org/app/uploads/2023/11/Materials-Market-Report-2023.pdf>

Preferred Fiber & Materials Market Report 2020

[https://textileexchange.org/app/uploads/2021/03/Textile-Exchange-Preferred-Fiber-Material-Market-Report\\_2020.pdf](https://textileexchange.org/app/uploads/2021/03/Textile-Exchange-Preferred-Fiber-Material-Market-Report_2020.pdf)

そして、服に使用される素材の約60%がポリエステルです。主に石油からつくられるポリエステルは世界で最も生産されている繊維で、ファストファッションに代表される安価な服の大量生産を可能にしました。ポリエステル、ナイロン、アクリルなどの石油由来の化学繊維の服は、廃棄後に燃やせば大量の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出し、埋め立てても数百年間にわたって自然分解されることはありません。

日本では1年間で約36億着、1人あたり換算で30着以上にも及ぶ大量の服が供給されていますが、そのうち半分以上が売れ残り、焼却処分などの方法で廃棄されているといわれています。1人あたりでは、年間平均で18着を購入し、15枚を手放しています。手放す枚数よりも購入枚数の方が多く、1年間に1回も着られていない服が1人あたり35着もあります<sup>3</sup>。

| おもな繊維の分類 |                                              | 繊維等の種類                         |
|----------|----------------------------------------------|--------------------------------|
| 天然繊維     | 植物繊維<br>(主成分:セルロース)                          | 綿、麻(亜麻、苧麻)など                   |
|          | 動物繊維<br>(主成分:たんぱく質)                          | 毛(羊毛、カシミア、モヘヤなど)、絹など           |
| 化学繊維     | 再生繊維<br>(木材パルプやコットンリントなど天然のセルロースを利用してつくった繊維) | レーヨン、ポリノジック、キュプラなど             |
|          | 半合成繊維<br>(木材パルプなどの天然のセルロースを化学的に変化させてつくった繊維)  | アセテート、トリアセテートなど                |
|          | 合成繊維<br>(石油などを原料とし、高分子化合物からつくった繊維)           | ナイロン、ポリエステル、アクリル、ビニロン、ポリウレタンなど |

**クイズ3:**それぞれの数字は、服にまつわる日本と世界の統計です。

A～Cの表は何の数値を表しているか、下記の1～3の中から予想して[ ]に記入しましょう。

**答え:** 1. 服1枚あたりの価格の推移(日本) [ A ]

2. 二酸化炭素の排出量(世界) [ C ]

3. 服の輸入の割合(日本) [ B ]

<sup>3</sup>環境省 サステナブルファッション [https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)



## A 1. 服 1 枚あたりの価格推移(日本)

服の供給数は増加する一方で価格は年々安くなり、1枚あたり6,848円(1990年)が2,892円(2020年)と、30年間で半額以下になりました<sup>4</sup>。低価格化によって、「おさがり」や「手づくり」「お直し」「リメイク」よりも、手軽に短期間で服を買い替えることが増えたかもしれません。低価格化の背景には、安価な化学繊維の利用、大量生産によるコスト削減、人件費の安い地域での製造などがあります。

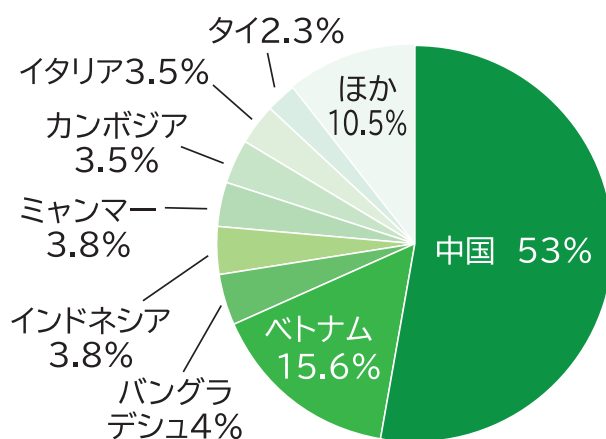
## B 3. 服の輸入の割合(日本)

日本で販売されている衣服の輸入割合(輸入浸透率=輸入量÷{生産量+輸入量-輸出量})は増え続け、2022年には数量ベースで98.5%にもなりました<sup>5</sup>。販売されている服のほとんどが外国で製造されているのです。

1991年には約50%だったので、当時は流通する服の半分は日本国内で製造されていたのです。国内生産の減少により、国内の繊維事業所数、製品出荷額ともに、1991年比で約4分の1に減少したそうです。

なお、日本で販売されている衣服の53%は中国で製造され輸入されています。以下、2位ベトナム(15.6%)、3位バングラデシュ(4%)、4位インドネシア(3.8%)、5位ミャンマー(3.8%)と続き、アジアからの輸入が多くを占めています<sup>6</sup>。

繊維製品 主要国別輸入の割合  
(日本・2023年)



## C 2. 二酸化炭素の排出量(世界)

気候変動の原因となる二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量は増加しています<sup>7</sup>。

アパレルファッション産業は2018年に約21億トンのCO<sub>2</sub>を排出し、世界全体の排出量の約4%に相当します。これは、フランス、ドイツ、英国の経済全体を合わせたものとほぼ同じ量の排出量に相当し、アパレルファッション産業は気候変動に大きな影響を与えていると考えられています。

アパレルファッション産業界が何も対策をとらない場合は、毎年2%ずつCO<sub>2</sub>排出量が増加し、2030年の排出量は27.4億トンまで増加すると予想されています。これでは気候変動が加速してしまうため、パリ協定での「1.5℃目標」との整合性をもたせるためには、予想から16億トン分を削減し、11億トン程度までにする必要がありますと考えられています。達成するためには、大きな産業構造の変革が必要になります。

<sup>4</sup>環境省 サステナブルファッション [https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

<sup>5</sup>経済産業省 繊維産業の現状と経済産業省の取組(2020年、2024年)  
[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/fiber/pdf/240516.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/pdf/240516.pdf)

<sup>6</sup>日本繊維輸出組合 繊維製品・主要国別輸入の推移(2014~2023年) <https://www.jtia.or.jp/toukei/toukei.htm>

<sup>7</sup>Our World in Data <https://ourworldindata.org/co2-emissions>

### どんなアクティビティ？

まず、服が製造され、消費者の手元に届くまで、そして手放したあとまでの工程を、カードを並び替えながら理解します。そして、服の「ライフサイクル」のそれぞれの工程でどのような環境・人権・社会的な問題が発生しているのかを学びます。現在の大量生産・大量消費・大量廃棄の服をめぐる状況を、より持続可能に、倫理的に変えていくための方法を考える糸口となるでしょう。

### ねらい

- ・服がどのような工程を経て自分の手元に届くのか、全体の流れを知ること。
- ・それぞれの工程でどのような環境・人権・社会的な問題が発生しているのかを知ること。

### 用意するもの

カードセットA・B・Cはそれぞれ異なる3色の紙にグループ数分印刷し、それぞれ切り分けて混ぜておいてください。また、カードの数と内容は対象者や目的に合わせて調整してください。カードセットB・Cはどちらか片方だけでも、両方を実施しても、あるいは、数枚ずつミックスしてもかまいません。ただ、数が多すぎると1枚1枚をしっかりと読むことがおろそかになってしまうため、ご注意ください。

- ・カードセットA 服の一生・サプライチェーン
- ・カードセットB 服と環境
- ・カードセットC 服と人権・社会
- ・カードと同じサイズの白い紙または付箋紙（各グループに20枚程度）
- ・ワークシート3（グループ数分用意する）
- ・A3用紙（台紙に貼る場合／グループ数分）
- ・糊またはセロテープ（台紙に貼る場合／グループ数分）
- ・投影機材（スライド資料を使用する場合／3頁参照）
- ・筆記用具（各自）

### 所要時間

60分～

### すすめ方

| 発問・学習内容                                                                                                                                                   | ポイント                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| <b>1. カードの配布と並べ替え(3分)</b><br>3～5人の小グループにカードセットA「服の一生」を1セット配布します。カードを机の上に広げ、左端に「素材・原料を生産する」カードを置くように伝えます。そして、「20秒間」で、服が作られて手元に届き、手放されるまで左から右に並び替えるように伝えます。 | あまり考え込まず、素早く作業することがポイントです。並べ替えははじめたら「10、9、8、7…」と残り時間を声に出してカウントすると作業が進みます。 |



|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>2. 答え合わせ(5分)</b><br/> 並べ終わったら、答え合わせをした後、以下のポイントを伝えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化していること</li> </ul> <p><b>例</b>「日本で販売されている服の98%は外国で製造され輸入されています。販売国・お店に送る(輸送)のカードの前までは外国で、それ以降は日本国内の行われていることです。原料調達、紡績、裁縫のそれぞれの工程も、それぞれ複数の国や地域で行われています」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サプライチェーンの説明:用語解説(6頁)をご参照ください。</li> <li>・サプライチェーンが分業化され複雑であること。</li> </ul> <p><b>例</b>「工程が分業化された、長く複雑なサプライチェーンになっています」<br/> 工程が確認出来たら、A3用紙の中央付近に糊かテープでとめておくと、4以降の作業がしやすくなります。</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 素材・原料生産</li> <li>2. 紡績(または染色)※</li> <li>3. 染色(または紡績)※</li> <li>4. 裁断・縫製・加工</li> <li>5. 完成</li> <li>6. 輸送</li> <li>7. 販売</li> <li>8. 買う</li> <li>9. 着る・洗濯・手入れ</li> <li>10. 着なくなる・着られなくなる</li> </ol> <p>※紡績してから染色する場合と、染色してから紡績する場合があるため、順番が入れ替わっても問題ありません。</p> |
| <p><b>3. 「着なくなる・着られなくなる」の後は？(5分)</b><br/> 最後の「服を着なくなる・着られなくなる」の後は、普段どのようになっているのか、どんなことが考えられるかを全体に質問します。挙手などで意見を聞き、全体に共有します。出た意見をそれぞれのグループで白い紙に書き、カードを追加します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | <p>あまり考え込まず、気軽に意見を出してもらいましょう。</p> <p>リユースやリメイク、リペアなどの意見が出たら、それらの行為により、服を長く着ることができることを説明します。</p>                                                                                                                                                                                                         |
| <p><b>4. カードセットB「環境」またはC「人権・社会」(15分)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①各グループにカードセットBまたはCを1セット、カードと同じサイズの白い紙を20枚程度配布します。</li> <li>②カードは裏側を上にして、机の中央に置きます。</li> <li>③1人が上からカードを取り、音読します。</li> <li>④グループで話し合いながら、3で並び替えた工程のどこに該当することかを考え、工程の近くにカードを置きます。</li> <li>⑤カードは1枚に1つの工程が該当するとは限りません。話し合いながら、白い紙にカードを複製・追加してください。</li> <li>⑥交代でカードを引きながら、カードがなくなるまで③～⑤を繰り返します。</li> </ol> <p>時間内に全てのカードを早く並べることが目的ではありません。1枚ずつ、じっくり読み、話し合うことを優先してください。</p>                                     | <p>カードの数と内容は対象者や目的に合わせて調整してください。カードセットB・Cはどちらか片方だけでも、両方を実施しても、あるいは、数枚ずつミックスしてもかまいません。</p> <p>グループによってカードセット B・C を分けて配布した場合は、カードを糊やテープで A3 用紙に貼り、隣のグループと交換して、お互いにコメントを書いてもよいです。</p>                                                                                                                      |
| <p><b>5. グループでふりかえり(10分)</b><br/> ワークシート3を配布し、グループで話し合いながら記入します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p><b>6. ふりかえりとまとめ(15分)</b><br/> グループで話し合ったことを全体に共有します。</p> <p>また、「これからの問題を解決するには、どうしたらよいでしょうか？聞いたことのある取り組みや、実践していることがあれば紹介してください」と問いかけ、事例があれば紹介してもらいます。</p> <p>最後に以下のポイントを確認してまとめます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のファッション産業は環境負荷が非常に高く、多くの社会問題を生んでいること。</li> <li>・世界的にもより倫理的で持続可能なファッション産業への転換が必要だと認識されていること。</li> <li>・そのためには、カード A (サプライチェーン) を直線の一方通行に並べた「リニア経済」と呼ばれる大量生産・大量消費・大量廃棄のしくみ</li> </ul>                                                                          | <p>「どうしたら、一方通行(リニア)型から循環(サーキュラー)型に変えていくことができるでしょうか？」と問いかけてもよいでしょう。</p>                                                                                                                                                                                                                                  |

から、資源を効率的に循環させ、持続可能な社会をつくるとともに経済的な成長もめざす「サーキュラー経済」にしくみを変えていくことが必要だと認識されていること。

発展的な学習の展開例は28頁で、授業等での活用例は、29頁以降で紹介しています。

## ■カードの出典

カードB・Cの主な出典をご紹介します。

### カードB 服と環境

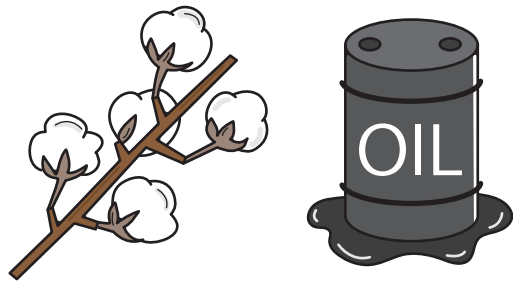
- ・リサイクル率／CO<sub>2</sub>の排出／処分焼却・埋め立て(日本):サステナブルファッション(環境省)  
[https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)
- ・合成繊維:Textile Exchange Materials Market Report 2023(Textile Exchange)  
<https://textileexchange.org/app/uploads/2023/11/Materials-Market-Report-2023.pdf>
- ・マイクロプラスチックの流出:国際自然保護連合(ICUN)  
<https://iucn.org/resources/issues-brief/plastic-pollution>
- ・処分焼却・埋め立て(世界):FASHION ON CLIMATE(McKinsey and Company)  
<https://www.mckinsey.com/industries/retail/our-insights/fashion-on-climate>
- ・お手入れ時のエネルギー利用:家庭用エネルギー(環境省地球環境局)  
[https://www.jccca.org/\\_bosys/wp-content/uploads/2020/10/pamphlet\\_green05\\_data01.pdf](https://www.jccca.org/_bosys/wp-content/uploads/2020/10/pamphlet_green05_data01.pdf)

### カードC 服と人権・社会

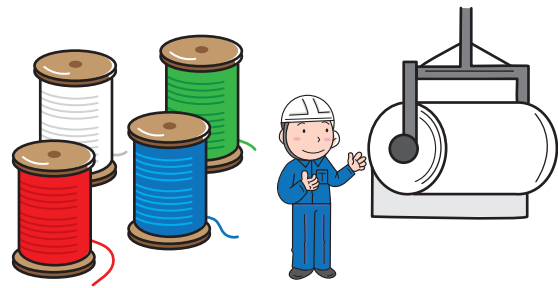
- ・農薬による健康被害:Pesticides and Crop Protection(Better Cotton)  
<https://bettercotton.org/field-level-results-impact/key-sustainability-issues/pesticides-and-crop-protection-in-cotton-farming/>
- ・産業への影響:繊維産業の現状と経済産業省の取組(経済産業省、2020年)  
[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/fiber/pdf/200129\\_2seni\\_genjyou\\_torikumi.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/pdf/200129_2seni_genjyou_torikumi.pdf)
- ・途上国への影響:ファストファッションの末路…不必要になった衣服の埋め立て地(BBC)、ほか  
<https://www.bbc.com/japanese/video-58839356>

## カードセットA 服の一生

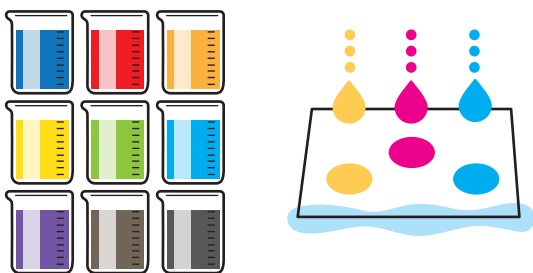
素材・原料を生産する



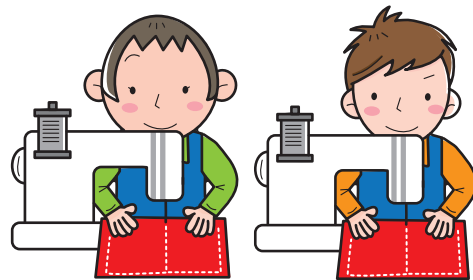
糸を紡いで布を織る（紡績）  
ほうせき



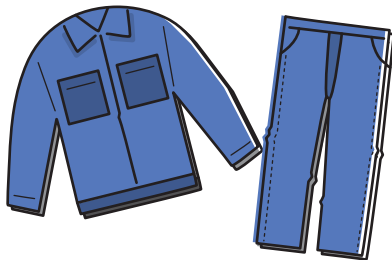
色を染める（染色）  
せんしよく



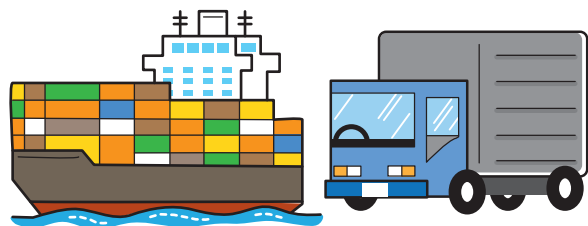
布を切って縫う（裁断・縫製・加工）  
さいだん ほうせい かこう



服が完成する



販売国・お店に送る（輸送）  
ゆそう



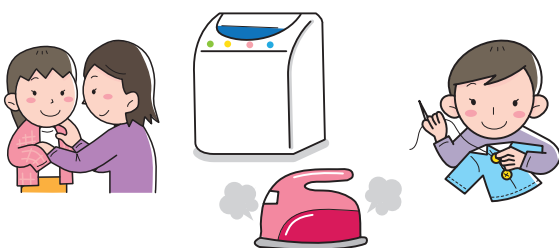
服を販売する



服を買う



服を着る・洗濯・手入れする



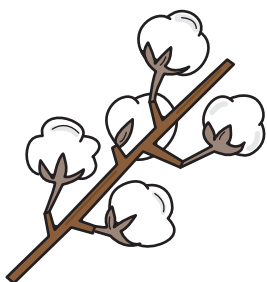
服を着なくなる・着られなくなる



## カードセット B 服と環境

### 農薬・水の利用

綿(コットン)の原料の綿花の栽培には大量の化学肥料と農薬、水が使われます。



### 石油の利用

ポリエステル、ナイロン、アクリルなどの合成繊維の製造のために石油が採取・精製されます。



### CO<sub>2</sub>の排出

原料調達から廃棄までのあらゆる過程で二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が排出されます。服1着あたりに換算すると、25.5kgで、500mlのペットボトル255本製造分に相当します。



### 化学薬品による汚染

紡績や染色には大量の化学薬品が使われます。適切に処理されないと、排水などが地域の水や土壌を汚染します。



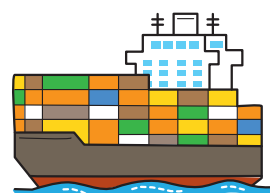
### 合成繊維

服に使用される素材の60%がポリエステルです。ポリエステルの86%が石油から生産され、リサイクルポリエステル繊維の割合は14%、植物由来のポリエステル繊維の割合は0.01%にすぎません。



### 輸送時のエネルギー利用

原料や糸や布地、完成した服の輸送ではCO<sub>2</sub>が排出されます。距離が遠くなり、輸送量が増えるほど、より多くのエネルギーを必要とします。



### お手入れ時のエネルギー利用

服を水で洗濯し、自然乾燥した時のCO<sub>2</sub>排出量(電気・水の使用量)は1回あたり約73gですが、乾燥機を使うと約1,019gと約13倍にもなり、温水洗濯すると更に排出量は増えます。



### マイクロプラスチックの流出

洗濯によりマイクロファイバー(合成繊維の場合はマイクロプラスチック)が自然環境に流出し、その多くが最終的に海に流れ込みます。海洋マイクロプラスチックの35%は合成繊維に由来すると考えられています。



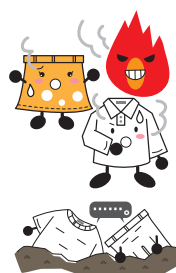
### 処分焼却・埋め立て(日本)

日本の服のリサイクル率は15%です。家庭から手放された服のうち66%が、焼却・埋め立て処分されています。これは1日当たり1,200トン(大型トラック120台分)に相当します。



### 処分焼却・埋め立て(世界)

世界で生産された服の60%が、製造されてから1年以内に焼却または埋め立て処分されていると推定されています。石油由来の合成繊維は焼却時に多くのCO<sub>2</sub>が排出され、埋め立てても長期にわたり自然分解されることはありません。



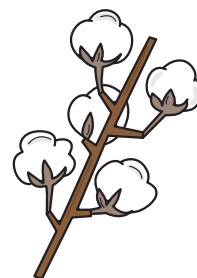
### 児童労働

綿花栽培には多くの手作業が必要で、体が小さく賃金が安いなどの理由から子どもたちが働かされていることがあります。児童労働は違法な人権問題と認識され改善されつつあるものの、無くなっていません。



### 農薬による健康被害

綿花は世界で最も農薬を消費する作物です。世界の全耕作地の2.4%を占める面積に対し、農薬使用量の4.7%、殺虫剤販売量の10%を使用しています。そして、44%の綿花農家が農薬中毒におちいつています。



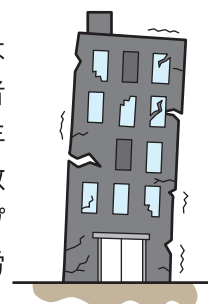
### 化学薬品による健康被害

生地染色や加工のために、多くの化学薬品が使用されています。適切に使用されないと、労働者や周辺の住民に健康被害を及ぼしたり、排出された物質により水や大気、土壌汚染を引き起こしたりします。



### 労働環境

縫製工場では、低賃金で安全ではない環境で働かされている労働者がいることがあります。2013年にはバングラデシュ・ダッカで複数の縫製工場が入ったビル(ラナ・プラザ)が崩落し、1,100人以上の労働者が命を落しました。



### ジェンダー規範

女性にはスカートやハイヒールといった「女性らしい」服装を、男性にはズボンや背広などの「男性らしい」服装を求める「ジェンダー規範」は、その人らしく、心身に健康的な服装の選択肢を狭めてきました。



### 伝統文化・産業

グローバル化やファストファッションの普及に伴い、世界各地でファッションの独自性が失われ、伝統衣装を身に着ける人は減少しています。そして、伝統的な技術や産業の消失にもつながっています。



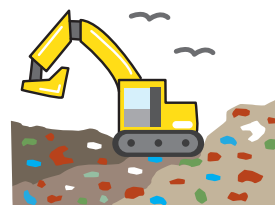
### 産業への影響

日本の衣類の輸入浸透率は1991年には50%でしたが、2020年には98%になりました。国内生産の減少により、国内の繊維事業所数、製造品出荷額ともに、1991年比で約4分の1に減少しました。



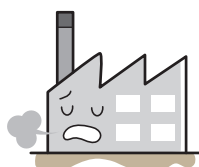
### 途上国への影響

途上国などに古着として寄付や販売されたものの一部は、廃棄されて環境汚染の原因になったり、現地の伝統的な繊維産業を破壊したりしています。



### 産業への影響

大量生産することで、服の1枚あたりの生産コストを下げられます。そのため、人件費が安く、大規模な工場がある国に生産拠点が移動していきます。日本だけでなく、世界各地で服の生産を担っていた職人や小規模事業者は選ばれなくなり、廃業しています。



### 労働者の技術習得

大規模な縫製工場では、効率よく服を仕立てるために作業を細かく分業化しています。労働者はボタン付け、袖付けなど、一部の作業はできますが、自分で服を一枚仕立てることができるような高い技術を身に着けることは困難なケースもあります。



## グループで話し合って記入しましょう。

●知ったこと、気づいたこと



●印象に残った工程やカードはどれですか？その理由は？

●疑問に思ったこと、もっと知りたいことは？



●この社会はどんな社会でありたい／あってほしいと思いますか？



### どんなアクティビティ？

どんな未来の社会に生きていたいと思うか、サステナブルな社会に向けて、わたしたちはどんなことができるのかを考えます。事例もご紹介しています。

### ねらい

- ・服とファッションをめぐる問題を解決するために、何ができるかを考える。
- ・消費者としてだけでなく、さまざまな立場からできることを考える。

### 用意するもの

- ・ワークシート4(人数分用意する)
- ・動画(教材の付録動画／3頁参照)
- ・投影機材(スライド資料を使用する場合／3頁参照)
- ・筆記用具(各自)

### 所要時間

60分

### すすめ方

| 発問・学習内容                                                                                                         | ポイント                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>1. 動画の視聴①(全体:5分)</b><br>教材に付録の動画を全体で視聴し、サステナブルファッションをめぐる問題を共有します。                                            |                                          |
| <b>2. すすめ方の説明(全体:5分)</b><br>1人一枚ワークシート4を配布し、eri(えり)さんのメッセージを全体に音読します。                                           |                                          |
| <b>3. ワークシートのSTEP1に記入する(個人:5分)</b><br>ワークシートのSTEP1に個人で記入してもらいます。                                                |                                          |
| <b>4. グループワークと全体発表(20分)</b><br>3～5人の小グループで書いたことを共有し意見交換します。<br>数グループに話し合いの概要を全体発表してもらいます。                       |                                          |
| <b>5. ワークシートのSTEP2に記入する(個人:5分)</b><br>ワークシートのSTEP2に個人で記入してもらいます。                                                | つける○の数は3つより多くても少なくてもかまいません。              |
| <b>6. グループワークと全体発表(20分)</b><br>グループで書いたことを共有し意見交換します。数グループに話し合いの概要を全体発表してもらいます。<br>※冊子(ハンドブック)では4件の事例をご紹介しています。 | 発展的な学習の展開例は28頁で、授業等での活用例は、29頁以降で紹介しています。 |

## 説明：STEP2 の項目について

ここでは、A～Oの15の項目を用意していますが、これ以外にも服とファッションを「豊か」に「サステナブル」に楽しむための取り組みは数多くあります。また、今後新たな取り組みが次々と生まれてくることでしょう。ですから、「P」の欄には、クリエイティブに自由にアイデアを記入してもらい、発表してもらいましょう。

### B) 環境や人権を大切にしている政党・候補者に投票する

例えば、フランスでは2020年に世界で初めて、「循環経済法」(資源の循環と廃棄物の削減を目指した循環経済に関する法律)を公布し、アパレルの売れ残り商品の廃棄を禁止しました。SDGs(持続可能な開発目標)においても、気候変動対策、児童労働の廃止などが掲げられています。

こういった法律や国際的な目標の制定には、政治的決定が必要です。政治的決定をするのは政治家や政党ですから、市民がどのような政党や候補者を選ぶのかは、サステナブルファッションとも関係することです。

### C) 環境や人権に配慮していないメーカーの服は買わない

### J) メーカーやお店に原料調達や製造工程について質問する

### K) 長く着られる服をつくる、つくり過ぎないように、メーカーに提案する

消費者が「環境や人権に配慮した服を買いたい」と考えた時、どうすればメーカーの取り組みを知ることができるのでしょうか？ それらは、分かりやすく明示されているのでしょうか？

例えば、経済産業省では「繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン」(33頁参照)向けに作成しています。ウェブサイト「Shift C (シフトシー) powered by Good On You」(<https://shiftc.jp/>)では、ファッションブランドを検索し、その持続可能性評価を確認したうえで、リンクからブランドに直接アクセスすることができます。

また、環境や人権への取り組みが知りたい、どんな原料で、どんな過程でつくられたのかを知りたいという場合は、お店やメーカーのウェブサイトに開示されている情報を調べたり、質問したりすることができます。

### L) タンスやクローゼットを整理して、手持ちの服を見直してみる

### M) 自分に似合う色やデザインを知る

### O) 今持っている服を直しながらできるだけ長く着る

タンスやクローゼットを整理してみると、同じようなデザインの服が何着もあることや、ほとんど着ないままになっている服があることに気づくことができるかもしれません。手持ちの服を見直し、自分に似合う色やデザインを知ることで、流行に流されず、長く着ることのできる服を選ぶことができるようになります。

だからといって、着ていない服を捨てて(断捨離して)、新しい服を次々と買い足すのはサステナブルとはいえないので、人に譲るなどリユース方法を考えてみるのもいいかもしれません。まずは手持ちの服をできるだけ長く着ることが、最もサステナブルな方法です。



ファッションは本来、人を楽しませ幸せな気持ちにさせてくれるものなはずなのに今や環境負荷の高い汚染産業という真逆の存在になってしまいました。自分たちが気持ちいいものは同時に私たちが住む地球にとっても気持ちいいものでなくてははいけません。これからはお洋服を作る側も、買う側も新しいファッションの在り方や付き合い方をきちんと考え、みんなのための、気持ちがいい、カッコいい、そして誰にとっても優しい存在に変えていく必要があります。

—eri(えり)さん DEPT カンパニー代表／アクティビスト

ファッションを、「お洋服を作る側も、買う側も新しいファッションの在り方や付き合い方をきちんと考え、みんなのための、気持ちがいい、カッコいい、そして誰にとっても優しい存在」に変えていくために…

### STEP1 誰の・どんな行動が必要だと思いますか？2つ考えてみましょう。

| ひとつ選んで○をつける<br>[ ] は自由に記入してください   | 〇〇する |
|-----------------------------------|------|
| 消費者が メーカーが お店が メディアが<br>政府が [ ] が |      |
| 消費者が メーカーが お店が メディアが<br>政府が [ ] が |      |

### STEP2 服とファッションを「豊か」に「サステナブル」に楽しむために、あなたが大事だと思うことは？3つ選んで○をつけて理由を書いてください。これ以外にあれば P や欄外に自由に書いてください。

|                                  |                              |                                     |                                 |
|----------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| A) 学んだことや考えたことを友人や知人に伝える         | B) 環境や人権を大切にする政党・候補者に投票する    | C) 環境や人権に配慮していないメーカーの服は買わない         | D) SNS などに情報や意見を投稿する            |
| E) 原材料や服の生産・製造に関わる人のことを心に留めて生活する | F) もっと知る・調べる                 | G) 新しい服を買い過ぎない、長く着られる服を選ぶ           | H) 着なくなった服はフリマで売ったり人にあげたりする     |
| I) 生産者のために活動する NPO/NGO に参加や寄付をする | J) メーカーやお店に原料調達や製造工程について質問する | K) 長く着られる服をつくる、つくり過ぎないように、メーカーに提案する | L) タンスやクローゼットを整理して、手持ちの服を見直してみる |
| M) 自分に似合う色やデザインを知る               | N) 仲間と勉強会を開いて解決策を考える         | O) 今持っている服を直しながらかできるだけ長く着る          | P) そのほかのアイデア                    |

選んだ理由：

## 7 発展的な学習の展開例

### 1 タグをチェック！服のことを調べてみよう

- 1) グラフや表にまとめる:原料の産地、メーカー・販売国、原産国の集計をグラフや表にまとめてみましょう。世界地図上に展開することもできます。
- 2) 原料の産地を調べる:主な原料の産地を調べてみたり、タグに記載されているメーカー(企業)のウェブサイトの開示されている情報を調べたり、質問したりすることができます。

### 2 クイズ

- 1) 学習の事前事後の意識変容を見る:クイズ1問目の「日本に暮らす人たちが服を購入する時に重視していることはなんだと思いますか?」の選択肢を学習の事前事後に回答してもらい、参加者の意識変容を見ることができます。
- 2) 国内のアパレルファッション産業の取り組みについて調べる:クイズ3問目から、日本の産業への影響や企業の取り組みについて調べてみるすることができます。

### 3 サプライチェーンから考えるサステナビリティ

- 1) 気になるカードについてさらに調べる:カードA・B・Cにある項目についてさらに調べることができます。
- 2) カードにはない事柄を付け加える:カードB・Cにある事柄以外にも環境・人権・社会に与える事柄はたくさんあります(例:梱包で使われる使い捨てプラスチック、国内産業で働く外国人労働者について、等)。調べてわかったことを追加してカードを作成することができます。
- 3) サステナブルな方法を調べる:カードB・Cにある事柄に対して、サステナブルな方法も存在しています。国内外の政府や企業、団体でどのような取り組みがあるのか調べてみるすることができます。参加者用冊子でも事例をご紹介します。

### 4 未来のサステナブルファッション

- 1) サステナブルな方法を調べる:国内外の政府や企業、団体でどのような取り組みがあるのか調べてみるすることができます。参加者用冊子でも事例をご紹介します。
- 2) サステナブルファッションを企画してみる:サステナブルな服をメーカーになったつもりで企画してみましょう。素材、生産者、生産方法、デザイン、そのほかのこだわりを考えて、未来のサステナブルファッションを考えて発表します。

## 1 家庭科で活用する場合

### ■中学校「技術・家庭(家庭分野)」で活用する場合

<中学校学習指導要領の関連内容>

**B 衣食住の生活 (4)衣服の選択と手入れ (7)衣食住の生活についての課題と実践**

**C 消費生活・環境 (2)消費者の権利と責任 (3)消費生活・環境についての課題と実践**

- ・ 1 時限目:アクティビティ1は宿題で出しておく。1の共有と解説の後、アクティビティ2をグループで実施し、共有する。アクティビティ3で、カードA(工程)を並べ替え、グローバルなサプライチェーンのなかに、消費者の衣生活も組み込まれていることを確認する。
- ・ 2時限目:動画※を見て、不要になった衣服の埋め立て地の状況について理解する。1 時限目で並べた工程の該当する場所に、カードBの各カードを置いていく。グループのメンバーを混ぜて、ほかのグループのメンバーと印象に残ったカードとその理由を共有する。アクティビティ4を実施し、グループで共有する。最後に、授業を通してわかったことや、感想、これからの生活に生かすことについてふりかえり、整理する。

動画※「ファストファッションの末路…不必要になった衣服の埋め立て地」BBC News Japan  
[https://youtu.be/kK9y\\_RtYWhM?si=pka4hgMGSqIF35eM](https://youtu.be/kK9y_RtYWhM?si=pka4hgMGSqIF35eM)

### ■高等学校「家庭(家庭基礎・家庭総合)」で活用する場合

<高等学校学習指導要領の関連内容>

**(家庭基礎)B衣食住の生活の自立と設計 (2)衣生活と健康**

**(家庭総合)B衣食住の生活の科学と文化 (2)衣生活の科学と文化**

- ・ 被服材料、被服の計画・管理の学習でアクティビティ1を活用し、アクティビティ2や3へつなげる。
- ・ サプライチェーンで起きている課題についてカードA、B、Cを用いて整理し、資源・環境の観点から被服計画の必要性を理解し、その実現に向けてできることを考える。

**(家庭基礎)C 持続可能な消費生活・環境 (2)消費行動と意思決定 (3)持続可能なライフスタイルと環境**

**(家庭総合)C 持続可能な消費生活・環境 (2)消費行動と意思決定 (3)持続可能なライフスタイルと環境**

- ・ アクティビティ3を学習し、サプライチェーンで起きている「資源・環境」「人権・社会」などの影響についてカードで整理する。
- ・ アクティビティ4を通して安全で安心な生活と消費について多面的・多角的に考察し、持続可能な社会に向けての行動を考える。さらに、企業やNPO/NGOの取り組み、政策などを調べる。



## 2 総合的な学習の時間等で活用する場合

### ■中学校「総合的な学習の時間」で活用する場合

「持続可能な社会の実現に向けて」と題した単元の一貫として「サステナブルファッション」について学習し、「ありたい社会」について考える学習として実施する。

#### 【展開】

- 1) アクティビティ2のあとクイズ3で使われているグラフを見て、疑問に思ったこと、もっと知りたいと思ったことをグループで話して、書き出す。

例 グラフA 物価は上がっているのに、服の値段が下がっているのはなぜか？  
グラフB 日本製の服にはどのようなものがあるのか？  
グラフC 服を生産する過程のなかで、もっともCO<sub>2</sub>を排出するのはどの場面か？

- 2) 出てきた問いについて、インターネットや図書資料を用いたり関係者にインタビューを行ったりして調査活動を進める。集めた資料を整理・分析して、それぞれの問いについて調べた結果をまとめる。
- 3) アクティビティ3を進め、服ができる工程を確認する。カードBまたはカードCの記述を読み、サプライチェーンのどこに関係することか話し合いながら、該当するカードA(工程)の近くに置く。
- 4) カードに書かれている内容の中から印象に残っているカードや工程を選び、さらに調べたいことを共有する。それぞれ出した内容について資料を読んだりデータを用いたりしながら調べ、グループやクラスの中で紹介する。
- 5) 学習したことや調べたことをもとに「ありたい社会」を考える。また、「ありたい社会」をつくるために何を、どのように変えていったら良いのかを考え、共有する。

### ■高等学校「総合的な探究の時間」で活用する場合

9月の文化祭でサステナブルファッションを基盤としたファッションショーを行うことを目指し、授業を構成する。

#### 【展開】

##### 1) 導入(1学期)

1学期は、衣類の大量廃棄の問題や児童労働の問題などファッションを取り巻く問題を取り上げ、各自が考える。

##### 2) ショーの準備(夏休み～文化祭)

被服の専門科目を学んでいる生徒たちは、ドレス等の作品製作を行いながら、ショーの構想を考え、モデルになる生徒たちは、ウォーキングの練習、運営スタッフは音響や照明等を行う。作品を製作する際には布を有効活用したり、端布を使って小物を作るなどの工夫をする。ファッションショーのテーマも生徒自身が考える。

#### ショーテーマ実施例:

##### ①「U (Universal, Unlimited, Unknown, You)」

Uを頭文字とした4つのシーンからこれからのファッションのあるべき姿を考えるきっかけを作りたいという思いを込めた。日本の伝統的な服(浴衣)を身近に取り入れてもらうことや、1枚の布の無限の可能性、半袖シャツの新しい着こなしを考えることや、自分らしい作品を考えることなどのメッセージを込めた。



## ②「Limitless～無制限そして無限大～」

同じ服でもセクシャリティや体格や好み、雰囲気等、個性によって着こなしは様々あっていい、ファッションには制限はなく可能性は無限大だ、と伝えたいと考え、様々な演出でテーマを表現した。制限のないファッションが多様性を受け入れ合うことになり、それが服を大事にするエシカルな消費行動にもつながるのだというメッセージとなった。

## 3)ショーのふりかえり(文化祭後～3学期)

文化祭後、ファッション雑誌を作成しながら今年度のファッションショーをふりかえり、3学期に来年度のショーテーマを考えるきっかけとして、アクティビティ2、3を行い、改めてファッションに関する問題について振り返る。さらにアクティビティ4を行い、サステナブルファッションのためにできることを考え、来年度のショーテーマにつなげる。

出典:松尾美奈子「今、ファッションショーを通して私たちが伝えたいこと～エシカルファッションを意識した取組～」『埼玉教育』第5号(令和4年1月)

## 3 社会科(例:地理)で活用する場合

### ■中学校「社会(地理的分野)」で活用する場合

<中学校学習指導要領の関連内容>

#### B 世界の様々な地域 (2)世界の諸地域 ①アジア

##### 【主題】

服のメーカー(ブランド)の企業の所在地(販売者の国)と縫製している国(原産国)、販売されている国が異なる理由を探ろう。

##### 【展開】

- 1)アクティビティ1を通し、生徒たちが着ている服についている品質表示タグを見て、「メーカー・販売者の国、原産国」について、確認する。
- 2)あなたの服のメーカーはアメリカの会社だが、バングラデシュでつくって日本で売っているのはなぜだと思うか、と問いかける。
- 3)生徒たちは、教科書・地図帳や資料集を使ったり、ウェブ検索したりして、統計データ(例:綿花の生産・輸出入上位国、綿糸や綿織物の生産・輸出入上位、Tシャツの生産・輸出入上位国)を調べる。収集したデータは、グラフや表、地図化するなどして表現し、発表し合う。
- 4)改めて、「服のメーカーの企業の所在地と縫製している国、販売されている国が異なる」のはなぜか、と問い、「アジアの都市の賃金水準」を比較できるデータなどを提示する。
- 5)グローバル化や国際分業がもたらすメリット・デメリット、そしてその背景にある経済や社会の仕組みについて予想されることなどを議論し、アクティビティ3へと展開する。

## ■高等学校「地理総合」で活用する場合

### <高等学校学習指導要領の関連内容>

#### B 国際理解と国際協力（2）地球的課題と国際協力

##### 【主題】

ファッション産業を「リニア経済」から「サーキュラー経済」に変えるため、高校生にこそできることは何か考え、提案してみよう。

##### 【展開】

- 1) アクティビティ3を通し、服がどのような工程を経て自分の手元に届くのか、サプライチェーンの全体像を俯瞰する。その上で、各工程でどのような環境・人権・社会的な問題が発生しているか確認する。
- 2) アクティビティ3をふりかえりながら、現状のファッション産業は環境負荷が非常に高く、多くの社会問題を引き起こしていることを確認する。また、世界的にも、より倫理的で持続可能なファッション産業への転換が求められていることを伝える。具体的には、生徒たちが並べ替えたりしたカードA（工程）を使って、直線の一方通行の「リニア経済」と呼ばれる大量生産・大量消費・大量廃棄のしくみから、資源を効率的に循環させ、持続可能な社会をつくるとともに経済的な成長もめざす「サーキュラー経済」に変えていく必要性を示す。そのために、高校生にこそできることがあるのではないかと問いかける。
- 3) 生徒たちは、カードAの「着なくなる・着られなくなる」を起点に、サーキュラー経済への転換アイデアを挙げる（例：リサイクルボックスを利用する・古着として売る）。可能なら「買う」および「着る」フェーズについても検討する（例：譲り受ける・シェアする、リメイクする、アップサイクルする）。
- 4) 提案したアイデアを図に書き込み、アイデアごとに資源が循環する様子を表現して発表し、自分たち高校生にこそできることは何か、を考え、発表する。

## 4 地域で開催される講座の場で活用する場合

##### 【ねらい】

ファッションを取り巻く現状や問題について理解し、自分の意識や行動を見直し、できることを考える

##### 【展開】

- 1) 参加者にはアクティビティ1を宿題としてやってもらい、自己紹介とともに共有する。
- 2) アクティビティ2を実施し、ファッション問題の現状を理解する
- 3) アクティビティ3のカードA（工程）を並べ替えた後、「着なくなる・着られなくなる」の後、どうしているか、を白紙にたくさん書いてもらう。また、その行為をすることで、服の寿命がどのくらい伸びるのかも考えてもらう。
- 4) カードB、カードCに関連する工程の近くに貼り、各グループで特に印象に残ったカードや疑問を共有する
- 5) アクティビティ4を行い、自分の習慣で見直すことや、地域で取り組めること、企業やメディア、政府への提案など、グループに分かれて考える。

## 経済産業省

サステナブルファッションをより社会に浸透させるためには、社会全体における“繊維製品の資源循環システム”を構築することも重要です。経済産業省では、「繊維製品における資源循環ロードマップ」を作成し、2040年度における資源循環システム構築、適量生産・適量消費の達成を目指し、2030年度をターゲットイヤーとしたKPI(重要業績評価指標)を設定しました。

経済産業省では、このロードマップに沿った取組として、①「繊維製品の環境配慮設計ガイドライン」と②「繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン」の2つのガイドラインを作成しています。①のガイドラインは、繊維事業者がどのような点に注意して環境配慮設計に取り組むべきか、②のガイドラインは、繊維事業者が繊維製品の環境配慮に関する情報を消費者等にどのように伝えていくべきかを示しています。

消費者の皆さんも、ファッションを楽しむ時には、その製品が環境に配慮された設計で作られたものであるかということにも着目してみてください。

繊維製品の環境配慮設計ガイドライン

[https://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/fiber/pdf/20240329-2.pdf](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/pdf/20240329-2.pdf)



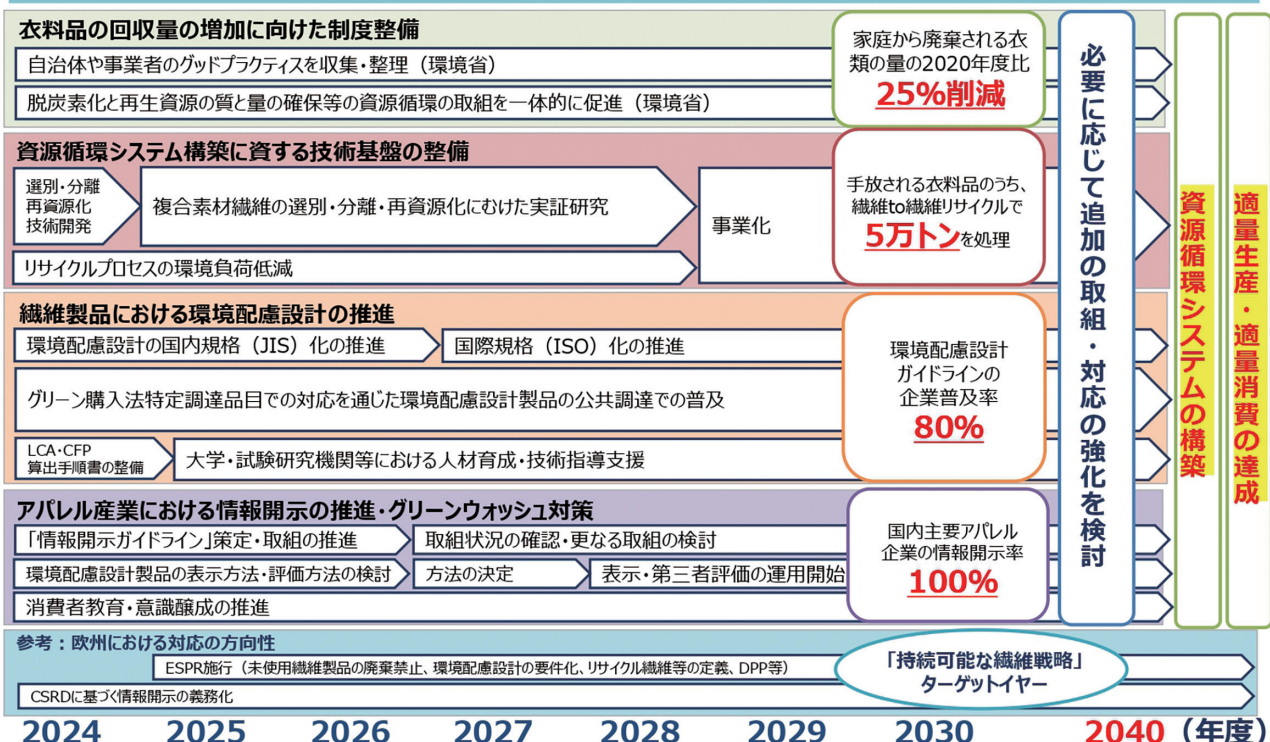
繊維・アパレル産業における環境配慮情報開示ガイドライン(第1版)

[https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo\\_sangyo/textile\\_industry/pdf/20240625\\_3.pdf](https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/seizo_sangyo/textile_industry/pdf/20240625_3.pdf)



## 繊維製品における資源循環ロードマップ

**2040年度の資源循環システムの構築、適量生産・適量消費の達成**を目指し、そのための**KPI**を設定。まずは、それぞれの項目で**2030年度をターゲットイヤー**とした個別目標を達成していく。



## 環境省

環境省では、「サステナブルファッションの促進」、「環境負荷の透明性の向上」、「ファッションを切り口にライフスタイルシフトを促す」をテーマに、関係省庁と連携して取組を進めています。

ライフスタイルシフトに向けては、生活者が取り組める、①「今持っている服を長く大切に着る」、②「リユースで楽しむ」、③「先のことを考えて買う」、④「作られ方を見る」、⑤「服を資源として再生利用する」という5つの取り組みを紹介しています。

サステナブルファッションの現状・課題、生活者・事業者が取り組めること、政府の施策などを分かりやすくまとめたウェブサイトも公開していますので、ぜひご覧ください。



環境省 サステナブルファッション  
[https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

## サステナブルファッション習慣教材検討会委員

|        |                                        |
|--------|----------------------------------------|
| 鎌田 安里紗 | 一般社団法人 unisteps 共同代表理事                 |
| 檜府 暢子  | 元東京大学教育学部附属中等教育学校後期課程副校長(中学校・高等学校 家庭科) |
| 西原 直枝  | 日本女子大学家政学部被服学科准教授                      |
| 別井 瑛奈  | 株式会社ゴールドウイン コーポレートコミュニケーション室 PR グループ   |
| 松下 直樹  | 愛光中学・高等学校 教諭 社会科(地理)担当 ICT 推進室         |

(50 音順・敬称略)

制作・著作 消費者庁 令和7年3月発行

〒100-8958 東京都千代田区霞が関3-1-1 消費者庁 消費者教育推進課 TEL.03-3507-7567